

# 情報公開用文書

「脳卒中による高次脳機能障害が転帰先、転倒、日常生活へ及ぼす影響の調査」

1, 研究（調査）の目的と概略

当院における「脳卒中後の高次脳機能障害が転帰先、転倒、日常生活への影響の調査」に関してエビデンスを蓄積し、今後のリハビリテーション医療の質の向上・患者のADL・QOL改善に資することを目的とします

2, 研究（調査）の方法

当院に脳卒中にて入院された患者様に対して、年齢、性別、神経心理学検査、日常生活状況、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名かされた後、学会発表および学術論文投稿に情報を利用し、それ以外の目的には利用しません

3, 研究（調査）の参加施設

徳島県立中央病院

4, 調査期間

調査期間 2019年4月1日から2022年12月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、脳梗塞・脳出血の診断の元、「リハビリテーション」の診療を施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局：徳島県立中央病院 医療技術局 リハビリテーション技術科

研究担当者：永野達郎

実施責任者：津川武弘

お問い合わせ先：088-631-7151(リハビリテーション室内 5249)